

ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2024年5月2日時点)

➤ **露軍が各正面で攻勢を強め、ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続する一方、ウクライナ軍は火砲や砲弾、防空ミサイルなどの不足に直面する中で防御戦闘を継続**

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人 (NYT23年8月18日)

: 死者約18万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

: 死傷者35.5万人以上 (英国防省24年3月3日)

「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人 (NYT23年8月18日)

: 死者3.1万人 (ゼレンスキー大統領24年2月25日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上 (UN23年12月4日)

- ・ シルスキー「ウ」総司令官は、少なくとも露4個旅団が**ポクロウシク及びクラホヴェの突破を企図**して、アウディウカ西方への更なる進出を試みていると指摘。また、「ウ」軍は、兵力保持のため、ベルディチ、セメニウカ、ノヴォミハイリウカ西方に転戦したと発表 (4月28日)
- ・ シルスキー総司令官は、**露軍が南部方面でも攻勢を継続**も、全く進展しておらず、「ウ」軍がネストリハ島を取り戻したと発表 (4月28日)
- ・ 米NYT紙は、「ウ」当局の話として、**露軍がチャシフ・ヤール掌握に向けて2.5万人の兵力を投入して攻勢を強化**していると指摘 (4月29日)

- ・ EU上級代表(外相)は、**チェコによるEU域外の第三国からの弾薬の共同調達について、最初の供与は、5月下旬から6月上旬**に行われるだろうと表明 (4月22日)
- ・ ロイターは、英首相が、**舟艇×60隻、攻撃用・防空用ミサイル×1,600発、小火器用弾薬×約400発**を含む、これまでで最大規模の装備支援を行うと発言した旨報道 (4月23日)
- ・ 露国防相は、今年、新世代の防空ミサイルシステム「**S-500**」の初期型のほか、「S-400」、「S-300V4」、「Buk-M3」、「Tor-M2U」、新世代のレーダーを部隊が**受領する予定**と表明 (4月23日)
- ・ 「ウ」外相は、**海外在住かつ徴兵対象年齢の「ウ」男性に対する領事サービスの停止**を発表。また、「ウ」内閣は、同「ウ」男性に対するパスポートの発給を禁止する決議を採択 (4月23日)
- ・ 米政府は、携帯型地对空ミサイル「**スティンガー**」を含む**10億ドル相当の新たな対「ウ」軍事支援**を発表し、直ちに送付されるとした (4月24日)
- ・ ロイターは、**米国が数週間前、射程300kmのATACMSを内密に「ウ」に輸送**し、「ウ」は既に2回使用したこと、また同ミサイルは、バイデン大統領が3月12日に承認した3億ドル相当の軍事支援の一部であったと報道 (4月24日)
- ・ 露国防省は、首都モスクワの戦勝記念公園で、「ウ」軍から鹵獲したとされる独製戦車「**レオパルト2**」や米製戦車「**エイブラムス**」等の軍用車両を市民向けに公開 (5月1日)



- ・ 露スモレンスク州知事は、同州の火力発電所で無人機の攻撃があり火災が発生と発表。「ウ」メディアは、「ウ」保安庁の攻撃により、同州の村落にある燃料等の貯蔵・くみ上げ基地2つが喪失したと指摘 (4月24日)
- ・ 「ウ」空軍総司令官は、露軍がドニプロ州、イウノフランキウスク州、リヴィウ州に位置するエネルギーインフラを標的に、Kh101/Kh-555×9発、Kh-59/Kh-69×9発、S-300ミサイル×2発、「**イスカンデルK**」ミサイル×2発、「**キンジャル**」空中発射型弾道ミサイル×4発、「**カリブル**」巡航ミサイル×8発から成る**大規模攻撃を実施**し、特に、**4つの火力発電所が攻撃を受けた**と発表 (4月27日)
- ・ 「ウ」海軍報道官は、**露軍が「イスカンデルM」弾道ミサイルを用いてオデーサを攻撃**したと発表。オデーサ当局は、同攻撃の結果、**教育施設で少なくとも5人が死亡**し、32人が負傷したと発表 (4月29日)
- ・ 露国防省は、クリミアに飛来したATACMS×6発を迎撃と発表 (4月30日)

- 露軍による攻撃が報じられた主な地点 (接触線以外)
- 露軍が占領した地点
- 侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
- ウクライナ軍が奪還した地域

国土院標準地図を加工

資料源: ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等